

小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成21年2月26日(木) 午後7時～午後8時20分
場所 小田原市役所 601会議室

2 出席した教育委員の氏名

- 1番委員 山田浩子
2番委員 青木秀夫 (教育長)
3番委員 桑原妙子 (教育委員長職務代理者)
4番委員 和田重宏 (教育委員長)
5番委員 山口潤

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

- | | |
|------------------------|------|
| 学校教育部長 | 和田豊 |
| 生涯学習部長 | 清水清 |
| 生涯学習部次長・生涯学習政策課長事務取扱 | 時田光章 |
| 文化財統括担当参事・生涯学習部文化財課長 | 塚田順正 |
| 教育政策課長 | 曾我勉 |
| 学校教育課長 | 柳下正祐 |
| 教職員担当課長 | 西村泰和 |
| 課長補佐・学事担当主査事務取扱 | 栢沼一郎 |
| 課長補佐兼指導主事・指導担当主査事務取扱 | 長澤貴 |
| 学校保健課長 | 伊澤秀一 |
| 教育研究所長 | 小宮郁夫 |
| 生涯学習センター担当課長 | 高橋幸男 |
| 青少年課長 | 諸星正美 |
| スポーツ課長 | 篠原祐子 |
| 図書館長 | 森徳行 |
| (事務局) | |
| 教育政策課課長補佐・教育政策担当主査事務取扱 | 座間亮 |

4 議事日程

日程第1 報告第1号 事務の臨時代理の報告（平成20年度3月補正予算）について（学校保健課、文化財課、スポーツ課、図書館）

日程第2 報告第2号 事務の臨時代理の報告（平成21年度当初予算）について（教育委員会各課）

日程第3 議案第2号 平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の取り扱いについて（学校教育課）

5 議事の概要

(1) 委員長開会宣言

(2) 会議録署名委員の決定…桑原委員、山口委員に決定

(3) 日程第1 報告第1号 事務の臨時代理の報告（平成20年度3月補正予算）について

提案理由説明…教育長、学校保健課長、文化財統括担当参事、スポーツ課長、図書館長

青木教育長…それでは、報告第1号「事務の臨時代理の報告（平成20年度3月補正予算）について」を御説明申し上げます。市議会3月定例会に係る教育委員会関係の補正予算案について、市長に対し意見の申し出をしました。これは、小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項に基づく付議事項でございますが、急施を要し、会議を開くことができなかつたため、同規則第4条第1項により、事務を臨時に代理させていただきました。ついては、同条第2項の規定により御報告するものでございます。細部につきましては、それぞれ所管から御説明申し上げます。

細部につきましては、所管から御説明申し上げます。

学校保健課長…それでは、まず、学校保健課分につきまして御説明申し上げます。お手元の資料をご覧ください。歳出の（項）小学校費（目）教育振興費でございます。この給食扶助費は、経済的な理由により就学困難な児童や生徒の保護者に対しまして給食費を援助するものです。当初予算では、小学校児童については対象者1,006人で算定しましたが、1,115人となりましたので、増分109人の給食費について補正計上を行ったものです。

文化財統括担当参事…続いて、文化財課分につきまして御説明申し上げます。はじめに(項)社会教育費(目)文化財保護費の緊急発掘調査費ですが、これは埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅等の建設に際しまして遺構・遺物が破壊される恐れがある場合に、全額公費をもって行う事前の試掘調査と、その結果によって行う本格調査の発掘調査経費です。今年度は、個人住宅の建設が当初見込より増加し、経費に不足が見込まれますので、国庫補助金を財源に、所用の経費を補正計上したものです。

次に、史跡小田原城整備経費の史跡小田原城跡用地取得事業費につきましては、資料の位置図をご覧ください。当該地は、小田原城総構城下張出をなす重要な場所でございますが、開発等により遺構が破壊される可能性があったことから、所有者に公有地化についての協力を要請したところ同意が得られたため、国庫補助金を財源に、用地を取得する経費を補正計上したものです。

スポーツ課長…続いて、スポーツ課分につきまして御説明申し上げます。(項)保健体育費(目)体育施設費の小田原アリーナ駐車場用地購入費ですが、資料の位置図をご覧ください。駐車場は何箇所かございますが、今回の用地を含めると、約800台の駐車が可能となります。

図書館長…続いて、図書館分につきまして御説明申し上げます。(項)社会教育費(目)図書館費ですが、かもめ図書館の光熱水費につきまして、ガス及び電気使用料に不足が見込まれますことから、補正計上したものです。

(質 疑)

桑原委員…小田原アリーナ駐車場が800台分というのは、それだけいつも利用されているのですか。

スポーツ課長…普段利用されているのは、資料にあります214台と200台の駐車場です。すべて使用するのは、年間120日位かと思います。なお、テニsgガーデンの利用者にも利用されているところです。

和田委員長…給食扶助費対象者の見込み増加は、社会の変動によるものなのですか。

学校保健課長…ここ数年は、人数、金額とも10%程度の右肩上がりです。

桑原委員…それは、具体的にはどういう理由なのでしょう。

学校保健課長…経済的に生活保護に近い、準要保護の状況の場合に対象となりますので、

収入が減ったというような理由になります。

桑原委員…次の予算を組むときに、増加の傾向を見込まないといけないということですか。

学校保健課長…そのとおりです。実は給食費の引き上げを決めたときも、こうした市の負担の事情があり、いろいろ検討をしたところです。

(その他質疑・意見等なし)

(4) 日程第2 報告第2号 事務の臨時代理の報告(平成21年度当初予算)について

提案理由説明…教育長、教育委員会各課所属長

青木教育長…それでは、報告第2号「事務の臨時代理の報告について」を御説明申し上げます。市議会3月定例会に係る教育委員会関係の平成21年度当初予算について、市長に対し意見の申し出をいたしました。これは、小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第14号に基づく当会議の付議事項であります。急施を要し、会議を開くことができませんでしたので、同規則第4条第1項の規定により、事務を臨時に代理させていただきました。従いまして、同条第2項の規定により、御報告するものでございます。細部につきましては、所管課から御説明申し上げます。

教育政策課長…それではまず、私から、総括的な事項につきましてご説明いたします。昨今の世界不況の中、厳しい予算編成が行われたところですが、小田原の地域資源や市民潜在力を最大限に引き出し、「新しい小田原」の創造、行政改革の推進、健全財政の維持、という基本の方針に基づいた予算編成が行われました。一般会計全体では554億円、前年度比では0.18%増となっています。

それでは、資料の教育費予算総括表を御覧ください。左下端に「総合計」の金額がございしますが、58億2,802万5,000円となっております。これは、平成20年度予算に比べ約8.0%の増額となっています。なお、一般会計予算全体に占める割合も、全体で、前年度の9.75%から10.52%へと増加いたしました。経済情勢が非常に厳しい中での予算案ですが、特に学校教育分野には、重点的な予算配分が行われ、事業の

拡充が図られております。

教育費関係の主要な取り組みをご案内いたしますと、教育現場においては、未来を担う人材育成への投資となる取り組みを強化することとし、小学校での少人数学級編制の拡大、特別支援教育推進事業の拡大・再構築、地域一体教育の一つであります学校における地域ボランティアを発展させた学校支援地域本部の推進、そして耐震補強をはじめとした、学校施設整備の推進を図ってまいります。また、片浦中学校の閉校に伴う支援事業を行ってまいります。生涯学習関係では、放課後児童クラブの増設等の育成事業、史跡小田原城跡の整備継続、ウォーキングの普及啓発を図るウォーキングタウン事業、そして、11回目となる城下町おだわらツデーマーチの継続実施を行ってまいります。

それでは、これから、個々の主な事業につきまして、各所管課ごとに説明させていただきます。

教育政策課長…まず、私から、教育政策課分につきましてご説明いたします。個別表の1ページ目の上段になります。主な事業として4つ挙げております。1つ目の「片浦小学校のあり方検討委員会の開催」は、学区児童の減少が進む中で、片浦小学校の今後のあり方を検討するため、地域の方を中心とした市民を交えた同委員会を新たに設けるものです。次の「片浦中学校施設活用検討委員会の開催」ですが、同中学校が来年度いっぱい閉校となることにより、その後の施設活用法について地域の方々を含め十分に検討を行う必要があることから、市民を交えた検討組織を立ち上げるものです。学校施設の整備では、主なものを挙げております。千代小学校で進めております校舎リニューアルは、トイレ改修工事を行います。また、最後の耐震補強事業につきましては、平成21年度の工事、富水小の体育館、国府津・酒匂・片浦・泉・橘・城北の中学校、前羽幼の園舎、これらをもって、すべての学校の耐震化が完了するものでございます。

学校教育課長…続きまして、学校教育課分につきましてご説明いたします。広報おだわらの最新号でも特集いたしました。21世紀を生きる子どもたちの「生きる力」を育むために、地域、少人数学級、支援教育で予算編成を行いました。それでは主な事業のご説明をいたします。

まず「特別支援教育推進事業」でございますが、当事業は、教育上配慮を要する児童・生徒が増加傾向にあることから、既存の制度を再構築し、これまで以上に学校における人的支援を拡充するものでございます。内容は、従来の障害児介助員及びスタディ・サポート・スタッフⅢを統合し、迅速な対応ができるよう新たに「個別支援員」として、学校に派遣いたします。予算では20%の増、人数では11人の増となります。また、障害等が重複化するなどして、教員等では対応が難しい児童・生徒に対して、医療面や心理面等を含めた専門的な助言を行う医師・臨床心理士、個別指導員からなる支援チームを派遣いたします。さらに、平成20年度途中から、生徒指導上大きな問題を抱えている中学校に派遣しておりました「生徒指導員」についても、引き続き実施していきます。

次に、上から6行目の「少人数学級編制推進事業」につきましては、現在、小学校1学年において、35人以下の少人数学級を実現しておりますが、学校現場からは「子どもの学習状況が把握しやすく、個に応じた指導ができる」などの効果が上がっているとの報告を受けております。そこで、学習や集団生活の基本的な習慣を確実に身に付けさせ、将来にわたり安定した学校生活を送れる基礎を固めることができるよう、当事業を小学校第2学年まで拡大するものでございます。また、「スタディ・サポート・スタッフ事業」につきましては、小学校第2学年まで少人数学級を編制することに伴い、スタディ・サポート・スタッフの派遣についても、小学校第1学年同様の基準に変更し、本市における小学校低学年へのきめ細やかな指導のより一層の充実を図っていくものでございます。

次に「学校支援地域本部推進事業」ですが、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域の中で様々な人から多くのことを学び成長していくことから、魅力ある学校づくりと並行させ、学校・家庭・地域の一体教育、幼・小・中の一体教育を推進してきました。この事業は、文部科学省が平成20年度から3年間の事業として推進していきまして、原則として中学校単位で学校と地域の連携を図ろうとするものです。国からの委託を受け、鴨宮中学校区、白山中学校区、酒匂中学校区、そして城南中学校区で実施しようとするものです。具体的には学習や部活動、学校行事の支援、環境整備

や安全パトロールなどの学校に関わるボランティア活動を活性化させ、教員が本来の教育活動に専念し、子どもたちに向き合える時間を増やそうとするものです。

また、この他にも「職業体験推進事業」、「理科教育推進事業」、「全国学力・学習状況調査検証委員会」が新規事業でございます。最後に、「片浦中学校閉校に伴う支援事業」につきましては、平成20年8月に提出された「小田原市立片浦中学校のあり方に関する提言書」等に基づき、平成22年3月で閉校となる片浦中学校を支援するとともに、平成22年4月から小田原市立城山中学校へ円滑に編入できるよう、市費非常勤講師の派遣や通学費の一部補助等を行うものでございます。

学校保健課長…続きまして、学校保健課分につきまして主な事業をご説明いたします。

まず、「児童・生徒等健康診断事業」につきましては、学校保健法に基づき、児童・生徒及び園児の定期健康診断並びに結核、心疾患、腎疾患、脊柱側弯症などの検診、また、就学時の健康診断などを実施するものでございます。次に、「保健教育推進事業」は、性についての正しい知識の普及を図るため、中学生を対象に性教育講演会を開催するもので、その講師謝礼などがございます。次に、「学校災害共済金給付事業」ですが、学校・幼稚園管理下で発生した児童・生徒・園児の事故や疾病に係る医療費などが、独立行政法人日本スポーツ振興センターから給付されます。この給付金は、負担金で成り立っており、この経費を計上しております。対象者は1万7,000人弱となります。次の「要保護・準要保護児童生徒援助事業」は、準要保護世帯の児童・生徒に対し、医療費、めがね代、給食費を、また、生活保護世帯の児童・生徒に対しては医療費を援助するものでございます。なお、医療費は伝染性疾患等特定のものが対象となります。

次の「給食調理業務委託」は、給食運営の合理化を図るため、調理業務の民間委託を実施していくもので、平成14年度から順次実施しておりますが、平成21年度は、新玉、山王及び下府中小学校で、新たに調理業務委託をいたします。次に「食育推進事業」につきましては、成長期の食生活をテーマに児童・生徒の保護者や学校給食関係者を対象とした講演会や、学校栄養職員を対象に食に関する指導技術の向上のための研修会を実施す

るものでございます。次に「食事環境整備事業」につきましては、前年度に引き続き、小田原木製食器の汁椀を取り入れることにより、日本型食習慣の育成と小田原の木の文化や伝統産業について学ばせようと平成12年度から順次実施しており、充実を図っております。最後に「給食調理施設・設備整備」につきましては、維持修繕費や備品の購入・修繕費となっております。

教育研究所長…続きまして、教育研究所分につきまして主な事業をご説明いたします。教育研究所では、共同研究事業のうち本年度からの継続研究として「小学校外国語活動に関する研究」「不登校対策に関する研究」「小・中学校の学習指導法に関する研究」を実施いたします。また、新規の研究として、いわゆる「小1プロブレム」やいじめ、不登校などの諸課題に対応できる学級経営をテーマにした「小学校学級経営に関する研究」を立ち上げ、合わせて5項目の共同研究の経費を計上いたしております。また、研修事業につきましては、教職員アカデミープランに基づき、教職員の多忙化解消とニーズに応じた研修の充実をめざして、内容や方法の見直しを行っております。具体的には、ライフステージ研修や課題研修、パワーアップ研修等を実施いたしますが、そのための「研修相談員報酬や研修会講師謝礼、印刷製本費等」の必要経費を計上いたしております。さらに、教育相談事業として、従来からの「教育相談員報酬」を、また、不登校対策強化事業につきましては、「教育相談指導学級、しろやま教室、マロニエ教室運営費」のほか、不登校児童・生徒やその保護者、教職員への支援を強化するための「不登校生徒訪問相談員賃金等」必要な経費を計上しております。

生涯学習部次長…続きまして、生涯学習政策課分につきまして主な事業をご説明いたします。最初に、「学習政策事業」の大茶会開催事業につきましては、実行委員会により平成2年以降実施しております大茶会に対し、助成を行うものですが、新年度につきましては、内容を見直し、石垣山ではなく城址公園で開催する予定となっております。また、「白秋の散歩道」を親子で歩く会につきましては、本年度整備いたしました「白秋の散歩道」の完成を記念し、小学生以下の子どもと、その保護者を対象として、白秋ゆかりの道を歩きながら、解説を聞き、童謡を歌うことで、北原白秋を顕彰すると

ともに、傑作童謡を生んだ小田原の自然、歴史、文化など、素晴らしい環境を体感していただくとするものであります。

次に「生涯学習センター事業」の成人学校（センター講座）につきましては、市民により構成される「生涯学習推進員の会」の企画運営により、社会的教養や暮らし、自己の充実などの講座を開設することにより、市民に生涯学習の機会を提供するものであります。また国府津学習館外壁改修等工事につきましては、築後30年を経過し、老朽化しております国府津学習館につきましては、施設の改修を行うものであります。

次に、「郷土文化館事業」のうち、松永記念館特別展につきましては、記念館の創立50周年を記念し、設立者である松永耳庵の功績を顕彰するために、「(仮称)松永耳庵と老櫛荘」と題した特別展を開催するものでございます。また、板橋 秋の交流会につきましては、公共施設の活用と地域の活性化を図るため、地域の皆様や関係団体等で組織する実行委員会により、引き続き実施するものでございます。次に、「尊徳記念館事業」のうち、おだわら市民大学報徳塾につきましては、郷土の偉人であります二宮尊徳翁の教えや業績を学び、日々の生活に活かしていただくことを目的とした講座を年間を通じ開催するものです。また、冷温水器更新工事につきましては、建設後20年を経過し老朽化の進んでおります尊徳記念館の設備につきまして、改修を行うものであります。

また、予算が小額のため、資料には記載してありませんが、市長の施政方針の中の「スクールコミュニティ」の具現化のため、庁内検討チームを発足させます。これは地域ぐるみで次世代を育てていくことを多方面から検討するもので、学校支援地域本部事業とは異なり、学校外、社会教育の面で放課後や休日の受け皿づくりを検討していくものです。

青少年課長…続きまして、青少年課分につきまして主な事業をご説明いたします。予算増につきましては、おおむね、青少年対策費は、放課後児童クラブ事業によるもの、また、諸施設費は、塔ノ峰青少年の家の施設の維持修繕にかかるものです。

主な事業ですが、「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」は、仕事などで昼間保護者がいない小学1年生から3年生までの児童が、安全に放

課後を過ごすことができるよう、原則として学校の校舎内で、児童を預かり、指導員の見守りや指導の下、遊びや集団生活の場を提供する事業です。平成 18 年度から全小学校に設置していますが、21 年度は、国から示された「放課後児童クラブガイドライン」に基づいて、クラブの児童数の適正化を図るため、大規模クラブである芦子、桜井、国府津の 3 クラブについて分割を行なうとともに、報徳小については、現在の面積が狭く、校舎内では入所希望者の増加に対応できないため、学校敷地内にクラブ室を建設するものです。なお、入所希望者の増加に伴い、運営にかかる経費が大幅に増加していることから、受益と負担の原則に基づき、応分の負担をしていただくため、平成 21 年度から保護者負担金を 1,000 円引き上げ、月額基本料 7,000 円とさせていただきます。

次に「指導者育成事業」ですが、塔の峰青少年の家でのキャンプを中心とする「地域少年リーダー養成講座」やジュニアリーダーズクラブ、シニアリーダーズクラブの会員育成のための研修等を開催するものです。次に「団体育成事業」は、各地域において、子どもたちの健全育成を進めている、子ども会や地区健全育成組織の活動を補助するものです。また全市の子ども会が一堂に会して行なう「ふれあい子どもフェスティバル」を市子ども会連絡協議会に委託して実施するものです。次に「地域環境浄化事業」ですが、青少年相談センターに事務局をおく、環境浄化推進委員協議会の活動として、青少年に好ましくない地域環境を早期に発見する調査や、違反広告物等を取り除く活動などを展開していくものです。次に「体験学習事業」は、16 回目となります少年少女オーシャンクルーズ事業や児童文化行事等を実施するものです。「青少年交流施設整備事業」は、塔ノ峰青少年の家の維持修繕や管理、運営を行なうものです。

文化財統括担当参事…続きまして、文化財課分につきまして主な事業をご説明いたします。

はじめに、「本丸・二の丸整備事業」ですが、今年度まで実施してまいりました馬出門櫓形の復元工事に引き続き、門をくぐったところの馬屋曲輪全体の整備を実施していこうとするものでございます。次に「八幡山古郭・総構整備事業」ですが、平成 19 年度から平成 21 年度までの 3 か年の継続事業の最終年度でございまして、園路整備、転落防止柵の設置、説明板

の設置等、八幡山古郭東曲輪を史跡公園として完成させ、一般開放するために必要な経費を計上したものです。次に「史跡小田原城跡用地取得事業」でございますが、取得予定地（民有地）は城内地区の国指定史跡内にあり、現状変更を規制する補償措置として、所有者からの申し出に基づき公有地化するものでございます。次に「史跡石垣山保全対策事業」でございますが、今年度に引き続き、石垣山の北西側斜面について保全対策工事を実施いたしますのでございます。

スポーツ課長…続きまして、スポーツ課分につきまして主な事業をご説明いたします。

はじめに、「市民総合体育大会」は、市民のスポーツの振興、競技力の向上を目指し25の連合自治会対抗により、ソフトボール等の対抗競技19種目21競技を実施するものです。次に、「おだわら駅伝競走大会」は、平成18年度まで実施した地区対抗の小田原市駅伝競走大会と実業団駅伝競走大会を統合し、地区対抗の部、事業所対抗の部を設け19年度第1回大会を実施しました。21年度は第3回の大会になりますが、新春のスポーツイベントとして魅力あるものにしてまいりたいと思っています。「ウオーク大会開催費」は、西さがみの豊かな自然や歴史文化を満喫していただくため、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の1市3町の連携事業として11月に「第11回城下町おだわらツデーマーチ」を開催するものです。また、市民の健康の増進を図るため、健康づくり課と連携して5回のウオーキング体験講座も開催するものであります。

「ウオーキングタウン事業」は、地域に点在する自然・歴史・文化・産業などの資源を散策するコースやウオーキング関係事業の情報を広く発信することにより、交流人口の拡大を目指すとともに、市民の日常的な楽しみであるウオーキングを奨励し、市民の健康増進を図るため、庁内関係各課と連携してウオーキングタウン小田原を創造するものです。スポーツ課予算に計上いたしました事業は、市内の園児、児童及びその保護者を対象に歩く楽しみや一緒に歩くことで生まれる絆などを感じて育てるため、歩育に関する講演会を開催するものであります。次に、「スポーツ施設の管理運営」でございますが、小田原アリーナをはじめ小田原テニスガーデン等スポーツ施設の管理運営を行うものです。

図書館長…続きまして、図書館分につきまして主な事業をご説明いたします。「地域資料・図書館資料の保存と公開」は、貴重資料を保存し、利用者に良好な状態で公開しようとするものです。保存のため酸性紙の脱酸処理を行うと同時に、デジタル撮影を行い、公開に供しようとするものです。必要性の高いものから優先的に行っており、脱酸処理は500点ほど、デジタル化は250点ほどを予定しています。「図書館関連事業」は、継続実施している音楽教養講座等を行います。「文学館特別展」は、俳人の藤田湘子の関係者から内部資料の寄贈がありましたので、これに関係した特別展を考えております。「カウンター業務委託」は、小田原市公営事業協会に委託して行っているものです。「図書館コンピュータシステム」は2図書館、4図書室、2図書コーナーをネットワーク化したものですが、この適切な運用を図っていくものです。

(質 疑)

山田委員…特別支援教育事業は、スクールミーティングのときに、充実を望む声をよく聞いていたので、スタッフが増えて良かったのですが、これでもまだ足りないかなと思います。今後より増やしていく考えはあるのでしょうか。また、放課後児童クラブは、安心でき、また若い保護者の方は指導員から子育てのアドバイスなども受けられていいという評判を聞きます。ただ、小学校3年生までということに困っている方もいますが、対象学年の拡大は考えられないでしょうか。

青少年課長…放課後児童クラブについて、そうした要望のあることは承知しておりますが、入所希望者が年々増加しており、手狭になってきているのが現状です。第一義的には待機者を出さないということでの対応となりますので、ご理解いただければと存じます。

学校教育課長…特別支援教育事業は、特別支援学級と普通学級も対象になります。子どもたちの実態も、多様化複雑化しており一層の充実を検討してまいります。支援スタッフが学校と一緒にどれくらいやっていけるか、しっかり研究して進めていきたいと思っております。確かに人数は増えますが、一人一人の力量や子どもへの思いを高めることが大事だと考えております。

桑原委員…放課後児童クラブの待機者は、実際にいるのでしょうか。

青少年課長…今年度当初はいましたが、現時点ではおりません。来年度当初でも待機の見込みはありません。

桑原委員…入所の条件や制約はあるのでしょうか。

青少年課長…保護者の仕事や病気などで、放課後子どもの面倒が見られないことが条件になります。

和田委員長…先日、豊川小学校のクラブを見学する機会がありましたが、指導員の年齢が高く、子どもとのギャップの大きさを非常に感じました。比較的小さい子どもに対応できる若い指導員を何とか採用できないかと思いましたが、時給単価の低いことがネックなののでしょうか。これはボランティアでないと、仕事としてはできないのでしょうか。また、指導員のやりくりが大変だと聞きましたが、複数のクラブで一括採用して、需給を調整する工夫はできないのでしょうか。

青少年課長…時給は830円で、市の臨時職員としては決して安い方ではありません。ただ、実働時間が放課後に限られるので、月収に限りがあります。夏休み期間等では、若い層の採用もありますが、長期間の確保は難しくなっております。また、指導員は、市で一括して採用していますが、住所と学校との遠近などの理由で、やりくりが難しいところもありますが、随時募集をしており、昨年あたりからは、年齢層の低い方や教職の免許をお持ちの方からの申し込みもありますので、少しずつ増えてきていると思います。ただ、抜本的な改善は改めて考えていかないといけないところです。

生涯学習部長…指導員の確保につきましては、過去、議会でも何度も指摘がありましたが、研修を行うなどして、現在の指導員の質を高めようとしています。なかなか新しい方の募集が難しいところがありますが、地域との連携もとって進めていきたいと考えておりますので、何か情報があれば、よろしくお願ひしたいと存じます。また、年齢については、ベテランの方が安心できるという面があります。

青木教育長…指導員の資質向上や様々な児童の状況に対応するため、新年度新規に青少年育成指導員を雇用するための予算計上を行っています。

桑原委員…教員採用試験を目指している人を、研修を兼ねて募集するというようなことはできないのでしょうか。

和田委員長…今は、自治体でこれから教職員になる人を対象に、研修を行っている例がありますが、ぜひこういう経験も積んでほしいと思います。

生涯学習部長…実際、そういう方が指導員になっている例はあります。ただ、子どもを預かることから、きちっとした人でないといけないと考えています。

和田委員長…そうした経験を将来に生かさないといけないということでは、そうした指導ができる人も必要になってきますね。

山田委員…夢のような話かもしれませんが、将来の話として、公民館などで、退職した教員や地域のボランティアが、勉強をみたり、いろいろ体験をさせたりというようなことができないでしょうか。

生涯学習部長…先ほどご説明した「スクールコミュニティ」は、まさにそうしたこともねらいになっています。

桑原委員…ということは、現実的な話なののでしょうか。

生涯学習部長…来年度、こうしたことも含め、検討していきたいと考えています。

山口委員…直接関係ないかもしれませんが、小田原アリーナへの交通ですが、環境問題もあり、道路の整備も進んでいることから、バスのような公共交通機関を通せないかと思うのですが。

桑原委員…大会があるときに、送迎バスを出すようなことは、しているのでしょうか。

スポーツ課長…送迎バスは、大会の主催者が対応することはあります。アリーナは小田急線の富水駅か蛸田駅から、大人が歩いて10分から15分程度です。現在、市で公共交通機関を用意する考えはありませんが、駐車場が不足していた頃は、パークアンドライドを呼びかけたこともあり、また、環境問題からも、乗り合わせなどを考えながら進めていきたいと思っています。

山口委員…競輪場への送迎バスと同じように、それなりの大会の時などには運行ができないものかなと思いますが。

生涯学習部長…確かに言われるとおりだと思いますので、大きな大会があるようなときは、やれるかどうか分かりませんが、努力してみたいと思います。

和田委員長…所管課は分かりませんが、今、よりどころのない暮らしをしている若者が増えている中で、来年度予算とは関係ないようですが、教育委員会として、今後、啓発事業とか働きかけとかを行っていただきたいと望みます。

(その他質疑・意見等なし)

(5) 日程第3 議案第2号 平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の取り扱いについて
提案理由説明…教育長、学校教育課長

和田委員長…次に、日程第3、議案第2号「平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の取り扱いについて」を議題といたします。ここで、会議の非公開について、お諮りいたします。小田原市教育委員会会議規則第5条第1項には、「会議は公開する。」と定められておりますが、同条ただし書きに公開の例外として「人事に関する事件その他の事件について、委員長又は委員の発議により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる。」と定められております。

当議案は、これを非公開といたしたいと存じます。さらに、非公開として審議するためには、同規則第5条第2項におきまして、「委員長又は委員の発議は、討論を行わないで、その可否を決しなければならない。」と定められております。よって、本議案を非公開とする件について、採決してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

御異議もないようですので、議案第2号を非公開とすることに賛成の方は、挙手願います。

(全員挙手)

全員賛成により、ただ今から非公開といたします。

(議事非公開)

(6) 委員長閉会宣言

平成21年3月24日

委 員 長

署名委員（山田委員）

署名委員（山口委員）